

---


# 伊勢崎佐波地区 景気動向調査


No.59 2017.10~12月期

---

## Contents

- 概況 …… 製造業、建設業で業況判断がプラスに転じる  
来期も全業種の業況判断で改善を予想
- 特別調査 …… 「2018年（平成30年）の経営見通し」

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

## 調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

## 今回の調査について

調査時期	2017年12月
調査内容	① 今期の状況:前年の同時期(2016年10月~12月)と比較した今期(2017年10月~12月)の状況及び前期(2017年7月~9月)と比較した今期の状況。 ② 来期の見通し:前年の同時期(2017年1月~3月)と比較した来期(2018年1月~3月)の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回答企業数	363社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	109	117	93.2%
卸売業	26	29	89.7%
小売業	89	93	95.7%
建設業	58	61	95.1%
サービス業	81	86	94.2%
合計	363	386	94.0%

## 調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数(Diffusion Index-D.I.)を用いております。この判断指数(D.I.)とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

## 1. 業況

























### 製造業、建設業で業況判断がプラスに転じる 来期も全業種の業況判断で改善を予想

今期（2017.10~12）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I.は、 $\Delta 5.5$  と前期（2017.7~9： $\Delta 9.4$ ）との比較で 3.9 ポイント改善し、前期の悪化から再び改善へと転じました。業種別の業況判断 D.I.では、製造業で $\Delta 9.9$ から 0.9 へ、建設業は $\Delta 5.5$ から 10.3 へと各々プラスの判断に転じたほか、小売業でも 2.8 ポイント改善した一方で、サービス業では $\Delta 2.4$ から $\Delta 13.6$ へと 11.2 ポイント悪化しました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実施した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全国調査の業況判断 D.I.が前期 $\Delta 16.9$ から $\Delta 17.4$ へと 0.5 ポイント悪化しているのに対し、当地域の全業種の業況判断 D.I.は前期比で 3.9 ポイント改善しています。また、今期の全業種の業況判断 D.I.は全国調査を 11.9 ポイント上回っているほか、業種別でも業況判断 D.I.は全業種で全国調査の業況判断 D.I.を上回る結果となっています。

来期（2018.1~3）の業況判断 D.I.の見通しは、 $\Delta 4.4$  と依然としてマイナスの判断が続くものの、今期（2017.10~12： $\Delta 5.5$ ）との比較で 1.1 ポイント改善するとしています。業種別では卸売業で $\Delta 7.7$ から 7.7 へと 15.4 ポイント改善しプラス判断に転じるほか、サービス業でも改善を予想している一方で、製造業、小売業、建設業では悪化すると予想しています。

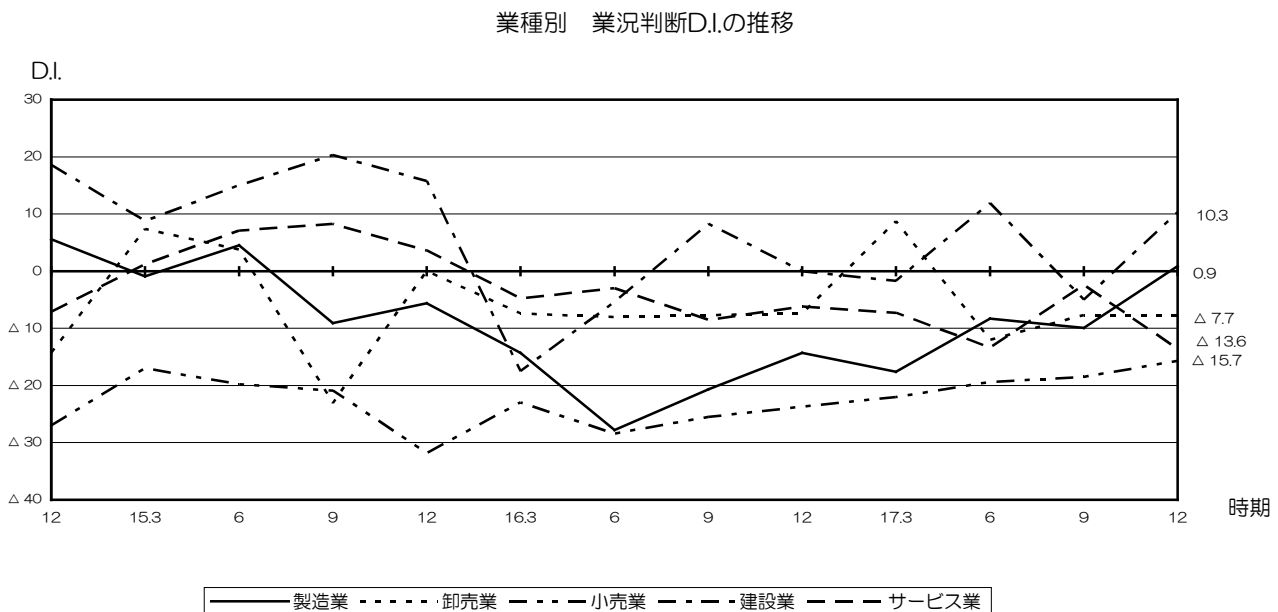
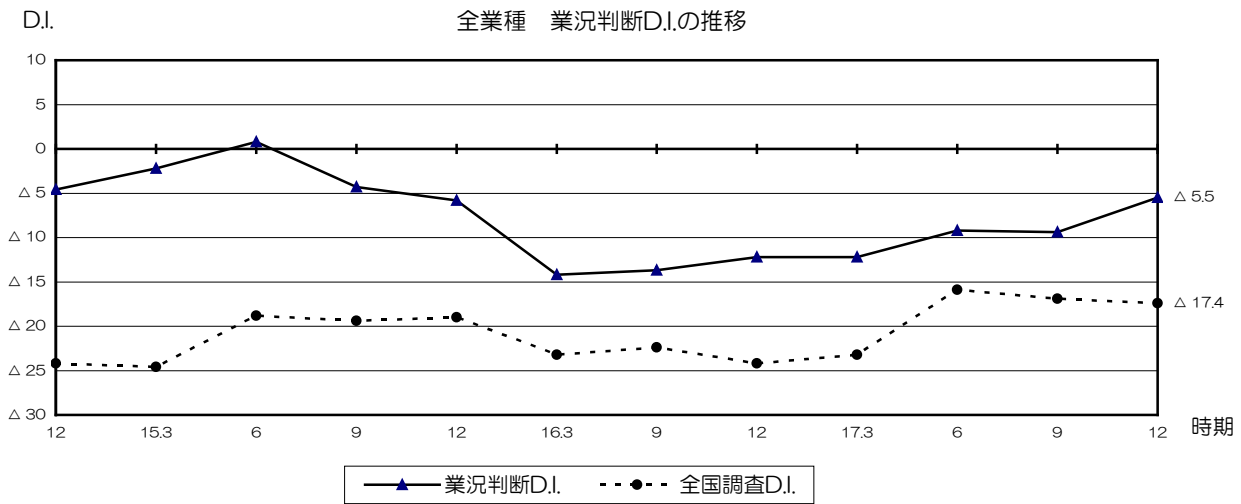
業 種 別 天 気 図

	前 期 2017.7~9月	今 期 2017.10~12月	全 国 調 査 2017.10~12月	来 期 見 通 し 2018.1~3月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



## 2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2017.7~9	今 期 2017.10~12	来 期 見 通 し 2018.1~3	全 国 調 査 2017.10~12
全 業 種	△9.4	△5.5	△4.4	△17.4
製 造 業	△9.9	0.9	△0.9	△7.4
卸 売 業	△7.7	△7.7	7.7	△14.8
小 売 業	△18.5	△15.7	△20.2	△33.7
建 設 業	△5.0	10.3	6.9	△5.4
サ ー ビ ス 業	△2.4	△13.6	△3.7	△18.1

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

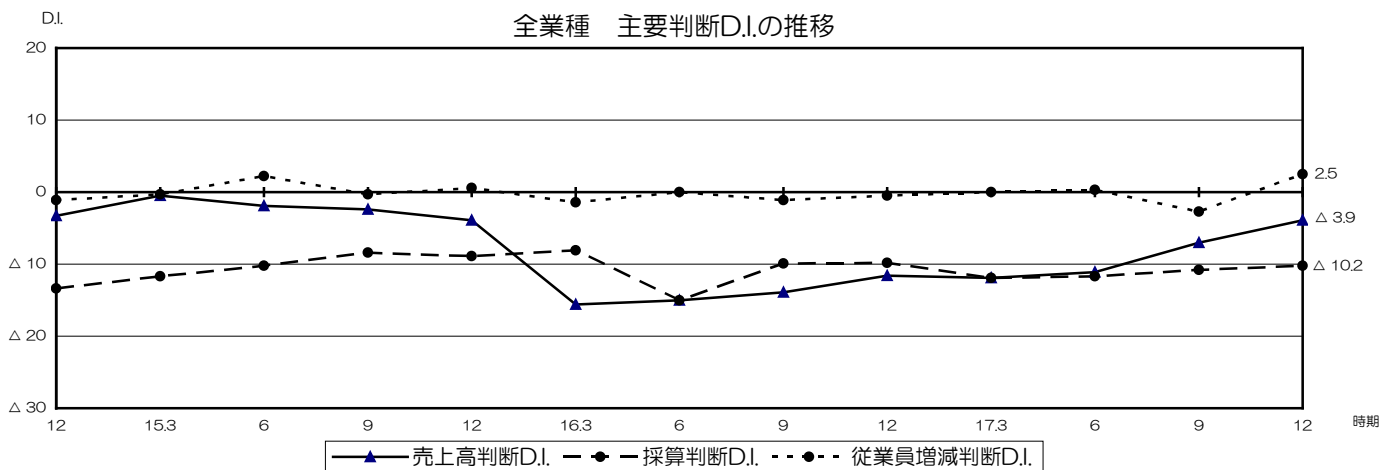
### 3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期(2017.10~12)の売上高判断D.I.は $\Delta 3.9$ と、前期(2017.7~9:  $\Delta 7.0$ )との比較で3.1ポイント改善しています。また、採算判断D.I.で0.6ポイント改善したほか、従業員増減判断D.I.では5.2ポイント改善しプラスの判断に転じました。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 7.0$	$\Delta 3.9$	$\Delta 2.5$
採 算	$\Delta 10.8$	$\Delta 10.2$	$\Delta 10.7$
従業員増減	$\Delta 2.7$	2.5	4.2

来期(2018.1~3)の売上高判断D.I.は $\Delta 2.5$ と、今期(2017.10~12:  $\Delta 3.9$ )との比較で1.4ポイント改善すると見通しているほか、従業員増減判断D.I.でも1.7ポイント改善を予想している一方で、採算判断D.I.は0.5ポイント悪化としています。



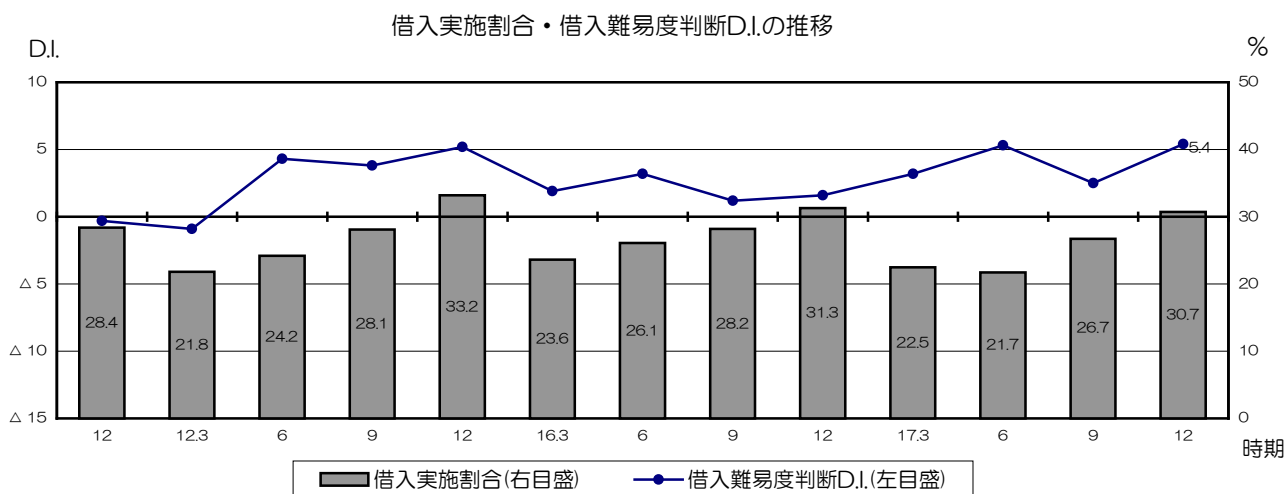
### 4. 借入金の状況

今期(2017.10~12)借入を実施した企業の割合は30.7%と、前期(2017.7~9: 26.7%)との比較で4.0ポイント増加しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	26.7%	30.7%	19.5%
借入難易度判断D.I.	2.5	5.4	

来期(2018.1~3)借入を予定する企業の割合は19.5%と、今期(2017.7~9: 30.7%)との比較で11.2ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.10~12)5.4と、前期(2017.7~9: 2.5)との比較で2.9ポイント改善しています。



## 1. 業況

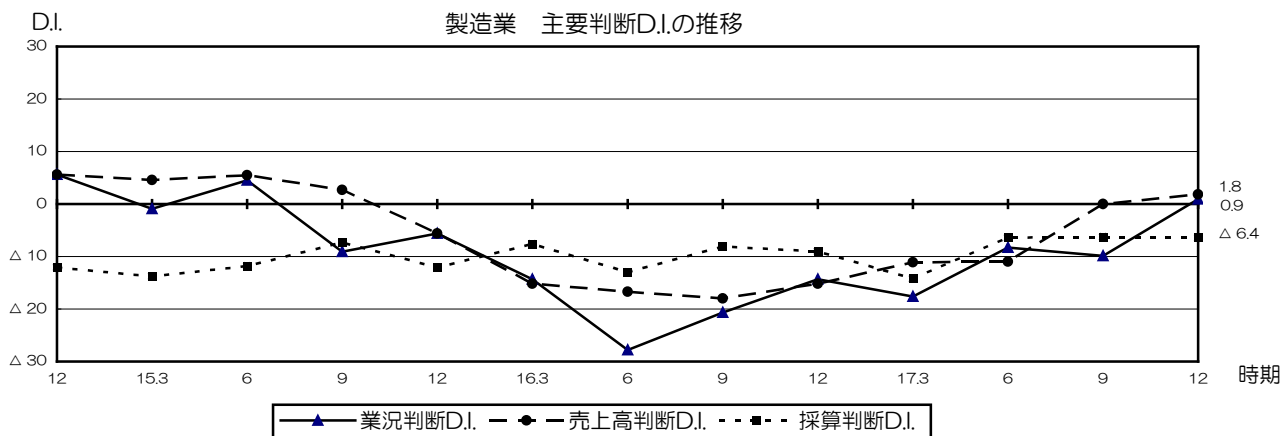
今期(2017.10~12)の業況判断D.I.は0.9と、前期(2017.7~9:△9.9)との比較で10.8ポイント改善し10期ぶりにプラスの判断に転じたほか、売上高、資金繰り、原材料在庫、従業員増減、設備操業率の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の△7.4を8.3ポイント上回っているほか、原材料仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2018.1~3)の業況判断D.I.は△0.9と、今期(2017.10~12)との比較で1.8ポイントの悪化を予想しているほか、売上高、資金繰り、原材料在庫の項目で今期を下回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△9.9	0.9	△0.9	△7.4
売上(加工)高	0.0	1.8	△0.9	△4.7
資 金 繰 り	△9.9	△6.4	△7.3	△8.0
採 算	△6.3	△6.4	△4.6	△12.0
原材料仕入単価	20.0	18.5	19.4	38.6
原材料在庫	△3.6	△1.9	△6.5	△3.8
従業員増減	△0.9	11.2	13.1	△0.7
設備操業率	△0.9	0.9	4.6	△2.3



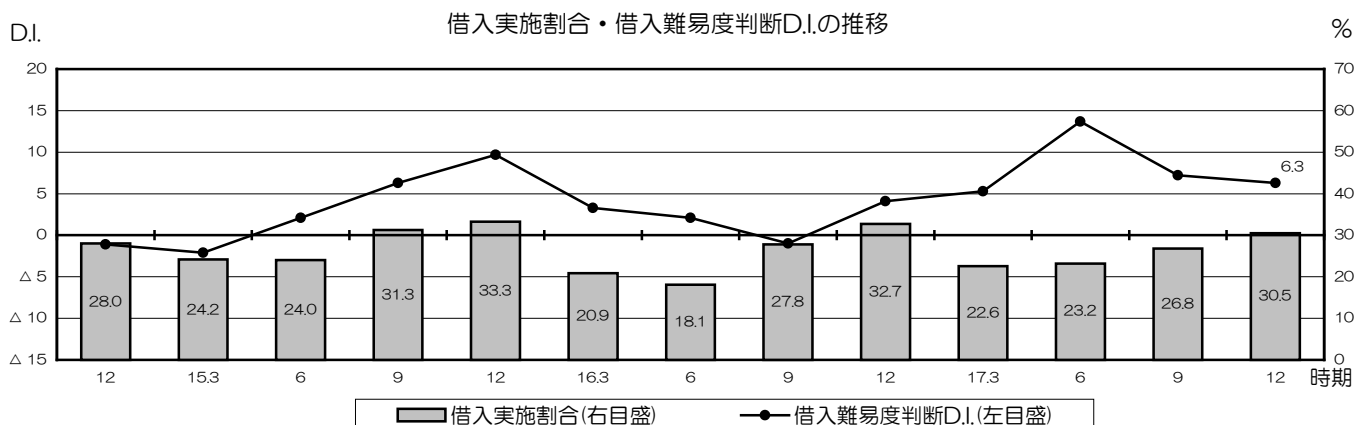
## 2. 借入金の状況

今期(2017.10~12)借入を実施した企業の割合は30.5%と、前期(2017.7~9:26.8%)との比較で3.7ポイント増加しました。

来期(2018.1~3)借入を予定する企業の割合は16.8%と、今期(2017.10~12:30.5%)と比較して13.7ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.10~12)6.3と、前期(2017.7~9:7.2)との比較では0.9ポイント悪化しています。

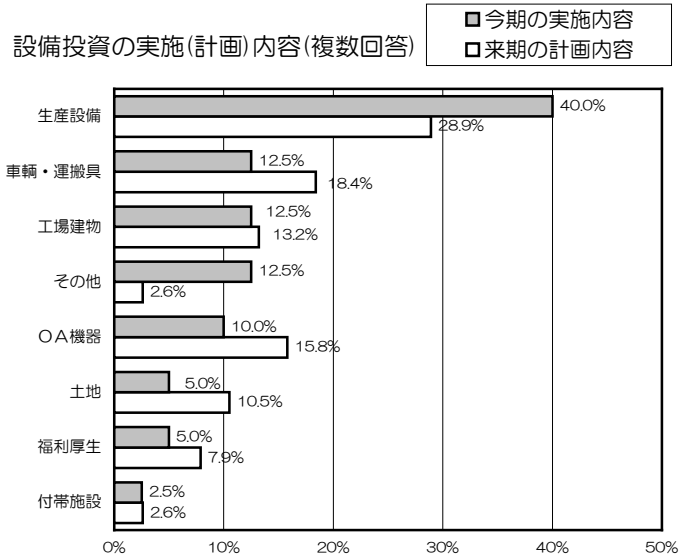
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	26.8%	30.5%	16.8%
借入難易度判断D.I.	7.2	6.3	



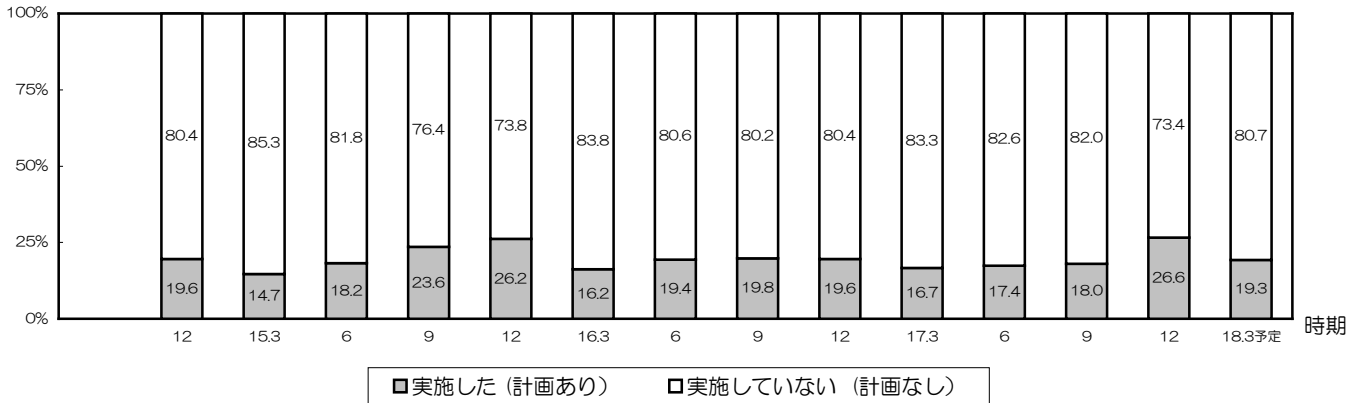
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.10～12）設備投資を実施した企業の割合は26.6%と、前期（2017.7～9：18.0%）との比較で8.6ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が40.0%、車輛・運搬具、工場建物、その他が各々12.5%、OA機器が10.0%、土地、福利厚生が各々5.0%、付帯施設が2.5%でした。

来期（2018.1～3）設備投資を計画する企業の割合は19.3%と、今期（2017.10～12）と比較して7.3ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が28.9%、車輛・運搬具が18.4%、OA機器が15.8%、工場建物が13.2%、土地が10.5%、福利厚生が7.9%、その他、付帯施設が各々2.6%となっています。



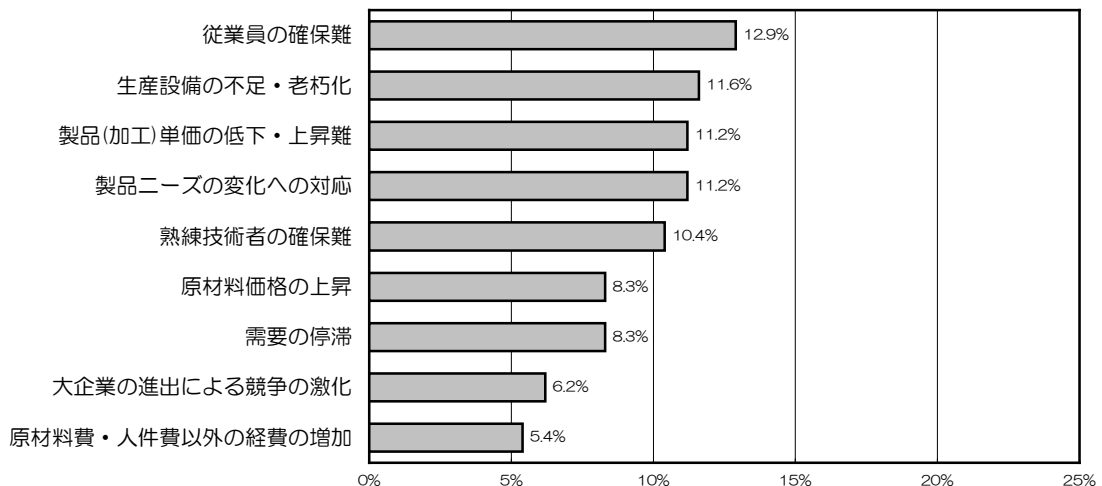
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「従業員の確保難」で12.9%、第2位が「生産設備の不足・老朽化」で11.6%、第3位が「製品(加工)単価の低下・上昇難」、「製品ニーズの変化への対応」で各々11.2%、第4位が「熟練技術者の確保難」で10.4%、第5位が「原材料価格の上昇」、「需要の停滞」で各々8.3%、第6位が「大企業の進出による競争の激化」で6.2%、第7位が「原材料費・人件費以外の経費の増加」で5.4%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



# 卸売業

2017.10~12月期 (回答 26 社・・・回答率 89.7%)

## 1. 業況

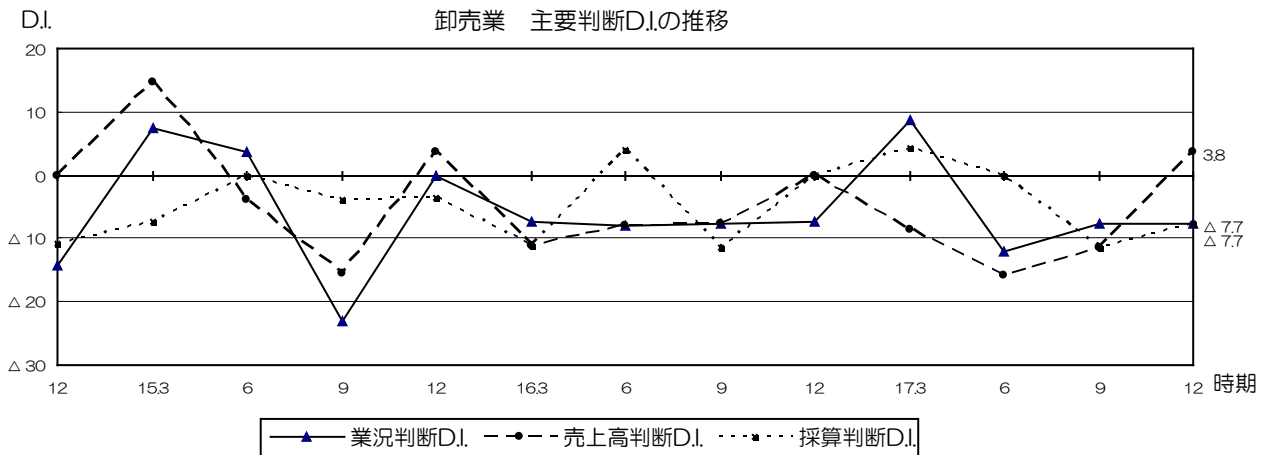
今期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 7.7$ と、前期 (2017.7~9:  $\Delta 7.7$ ) との比較で変化がありませんでしたが、売上高、採算、在庫数量の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 14.8$ を7.1ポイント上回っているほか、売上単価、仕入単価以外の項目でも全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2018.1~3) の業況判断 D.I.は、15.4ポイント改善の7.7とプラス判断に転じるとしているほか、売上高、資金繰りの項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 7.7$	$\Delta 7.7$	7.7	$\Delta 14.8$
売 上 高	$\Delta 11.5$	3.8	7.7	$\Delta 14.7$
資 金 繰 り	3.8	0.0	3.8	$\Delta 5.5$
採 算	$\Delta 11.5$	$\Delta 7.7$	$\Delta 7.7$	$\Delta 14.8$
売 上 単 価	3.8	0.0	$\Delta 3.8$	5.2
仕 入 単 価	7.7	7.7	3.8	29.7
在 庫 数 量	$\Delta 11.5$	3.8	3.8	$\Delta 9.9$
従 業 員 増 減	15.4	11.5	7.7	$\Delta 1.6$



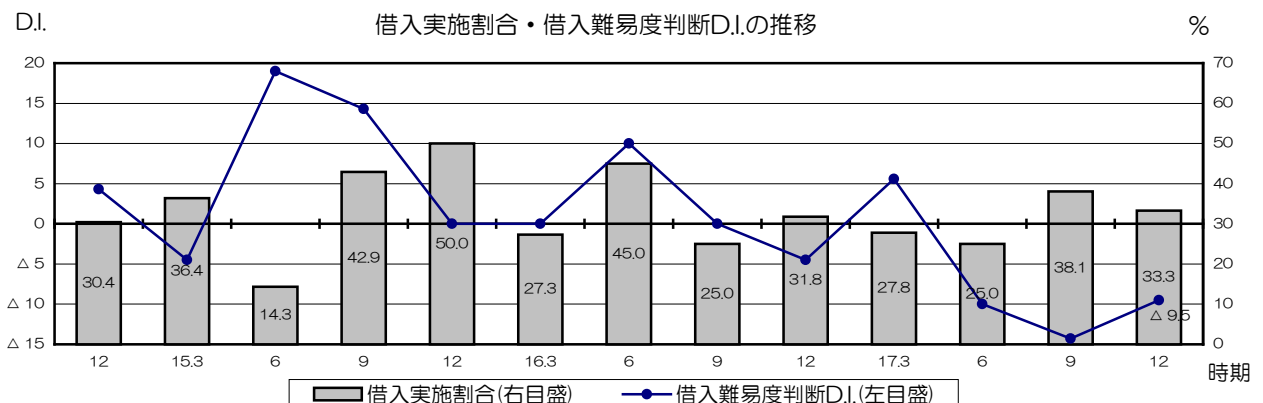
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.10~12) 借入を実施した企業の割合は33.3%と、前期 (2017.7~9: 38.1%) と比較して4.8ポイント減少しました。

来期 (2018.1~3) 借入を予定する企業の割合は19.0%と、今期 (2017.10~12) と比較して14.3ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期 (2017.10~12)  $\Delta 9.5$ と、前期 (2017.7~9:  $\Delta 14.3$ ) との比較では4.8ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	38.1%	33.3%	19.0%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 14.3$	$\Delta 9.5$	

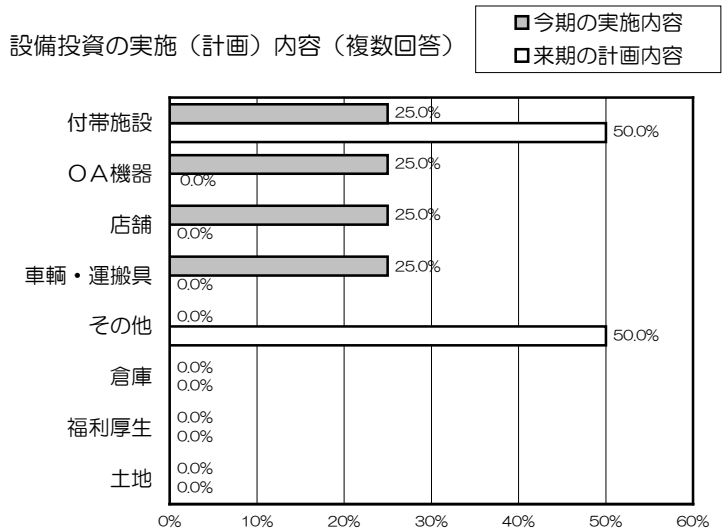




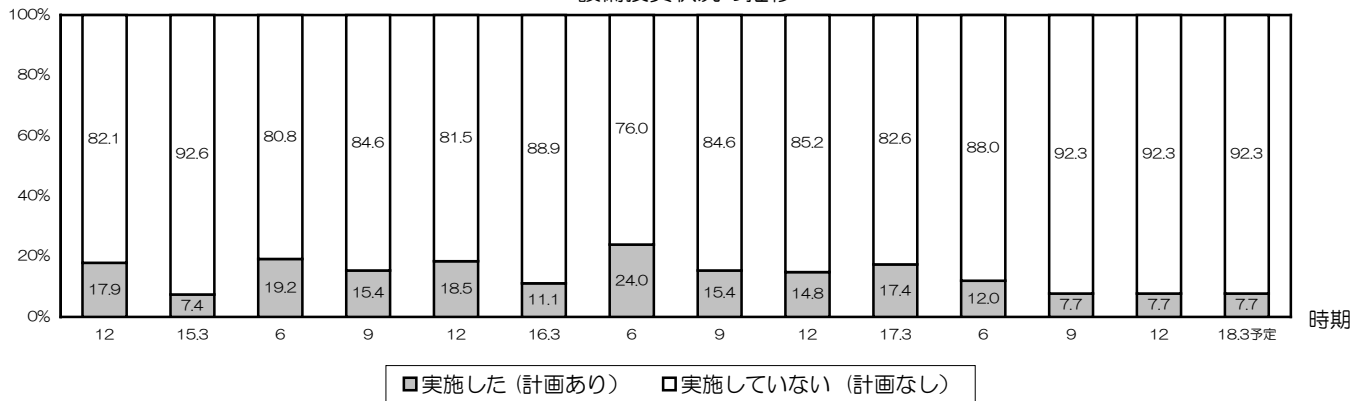
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.10～12）設備投資を実施した企業の割合は 7.7%と、前期（2017.7～9：7.7%）との比較で変化がありません。設備投資の内訳は、付帯施設、OA 機器、店舗、車輛・運搬具が各々25.0%でした。

来期（2018.1～3）設備投資を計画する企業の割合は 7.7%と、今期（2017.10～12）との比較で変化がありません。設備投資の内訳は、付帯施設、その他が各々50.0%となっています。



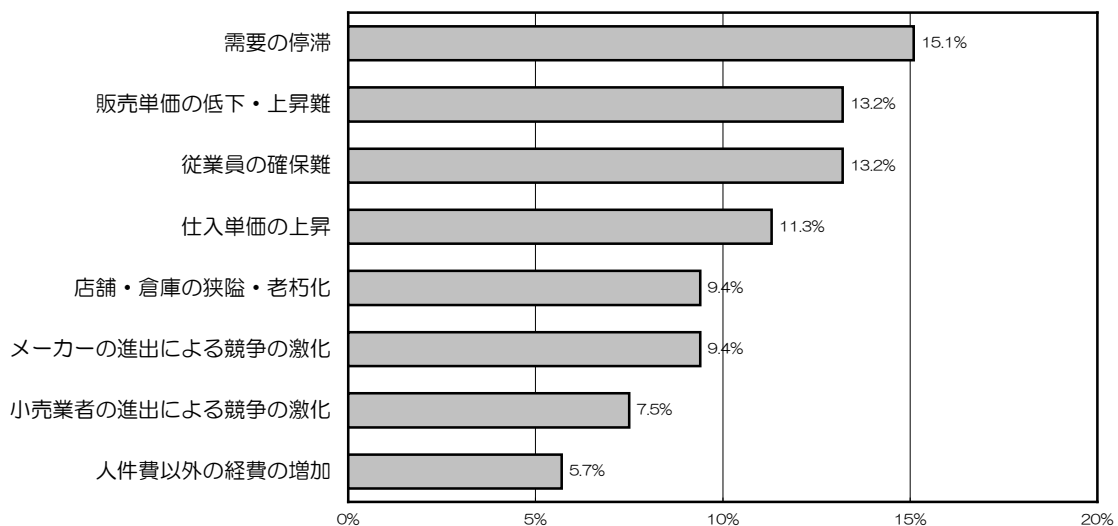
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で 15.1%、第2位が「販売単価の低下・上昇難」、「従業員の確保難」で各々13.2%、第3位が「仕入単価の上昇」で 11.3%、第4位が「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」、「メーカーの進出による競争の激化」で各々9.4%、第5位が「小売業者の進出による競争の激化」で 7.5%、第6位が「人件費以外の経費の増加」で 5.7%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



## 1. 業況

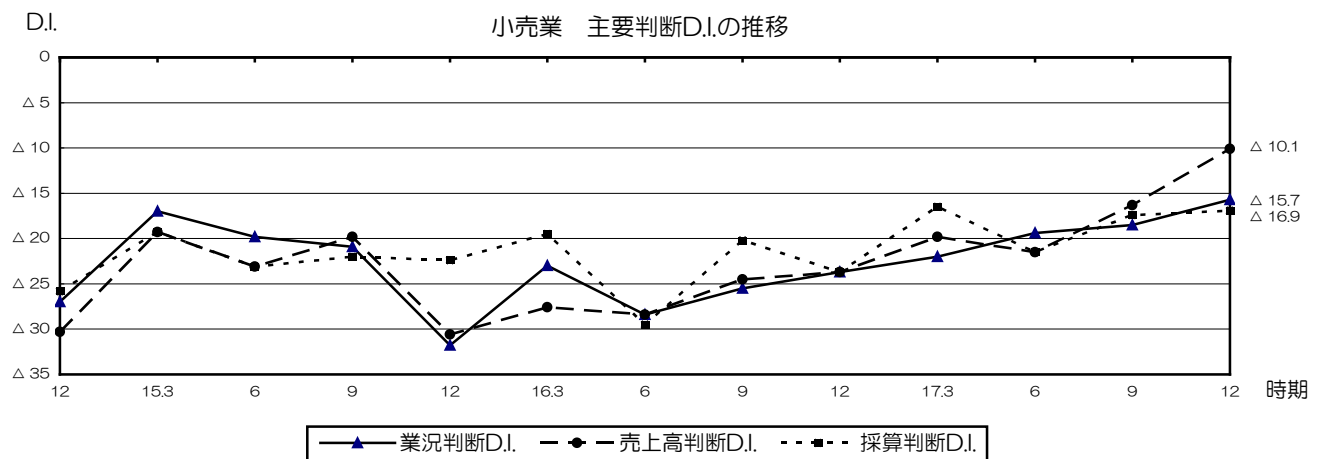
(対前年同期比判断D.I.)

今期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 15.7$ と、前期 (2017.7~9:  $\Delta 18.5$ ) との比較で 2.8 ポイント改善し、2016.7~9 期以降 6 期連続で改善しているほか、資金繰り、従業員増減以外の項目で前期を上回る結果となっています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 33.7$ を 18.0 ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2018.1~3) の業況判断 D.I.は $\Delta 20.2$ と、今期 (2017.10~12:  $\Delta 15.7$ ) との比較で 4.5 ポイント悪化するとしており、緩やかに続いた回復基調の減速を予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 18.5$	$\Delta 15.7$	$\Delta 20.2$	$\Delta 33.7$
売上高	$\Delta 16.3$	$\Delta 10.1$	$\Delta 14.6$	$\Delta 35.2$
資金繰り	$\Delta 12.1$	$\Delta 13.5$	$\Delta 12.4$	$\Delta 23.1$
採 算	$\Delta 17.4$	$\Delta 16.9$	$\Delta 23.6$	$\Delta 33.7$
売上単価	$\Delta 9.8$	$\Delta 6.7$	$\Delta 10.1$	$\Delta 23.0$
仕入単価	14.3	14.6	11.2	20.8
在庫数量	$\Delta 8.7$	$\Delta 6.7$	$\Delta 7.9$	$\Delta 18.6$
従業員増減	1.1	1.1	1.1	$\Delta 5.4$



## 2. 借入金の状況

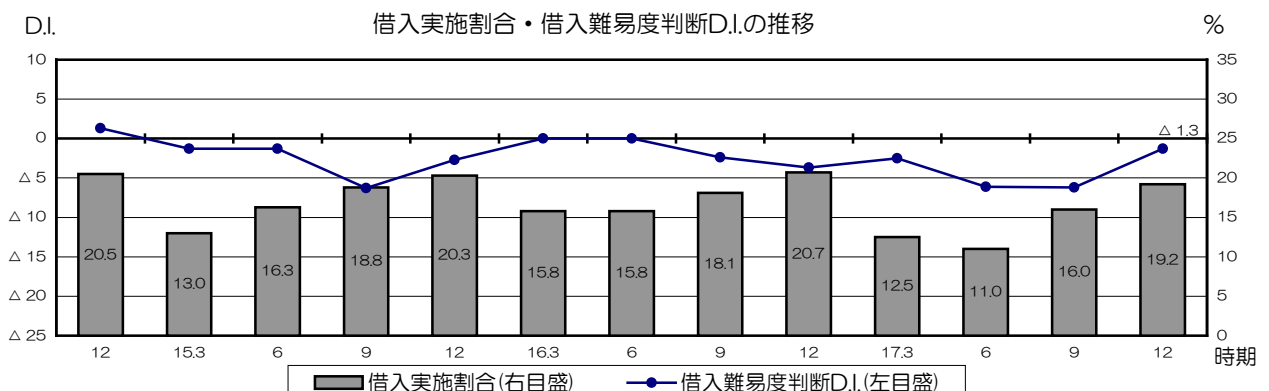
今期 (2017.10~12) 借入を実施した企業の割合は 19.2%と、前期 (2017.7~9: 16.0%) と比較して 3.2 ポイント増加しました。

来期 (2018.1~3) 借入を予定する企業の割合は 7.7%と、11.5 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.10~12)

$\Delta 1.3$ と、前期 (2017.7~9:  $\Delta 6.2$ ) との比較で 4.9 ポイント改善しています。

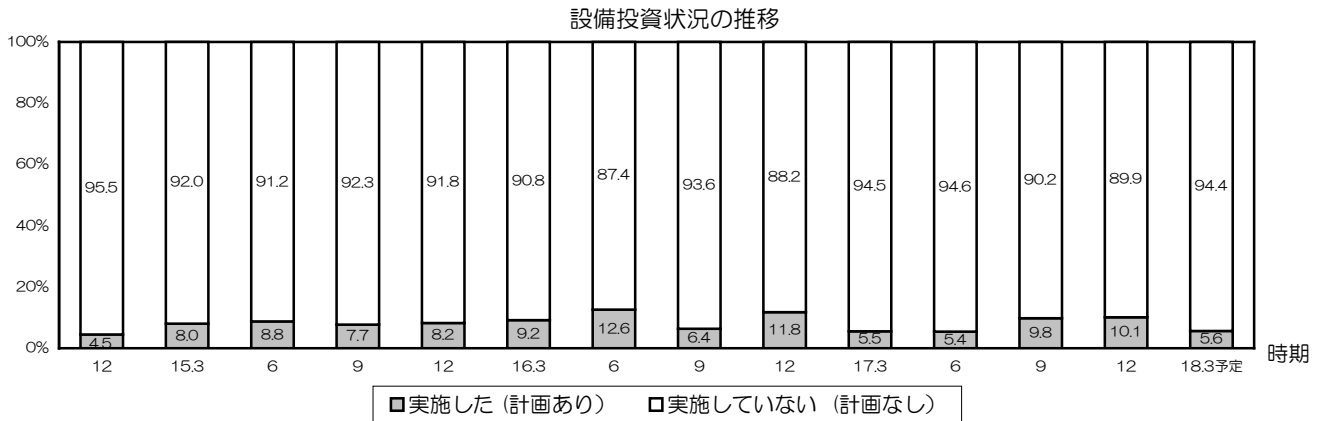
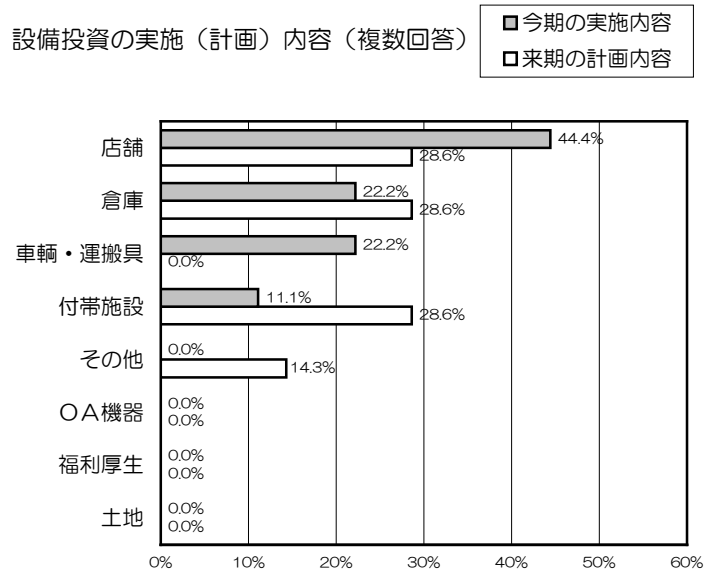
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	16.0%	19.2%	7.7%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 6.2$	$\Delta 1.3$	



### 3. 設備投資の状況

今期（2017.10～12）設備投資を実施した企業の割合は10.1%と、前期（2017.7～9：9.8%）との比較で0.3ポイント増加しました。設備投資の内訳は、店舗が44.4%、倉庫、車輛・運搬具が各々22.2%、付帯施設が11.1%でした。

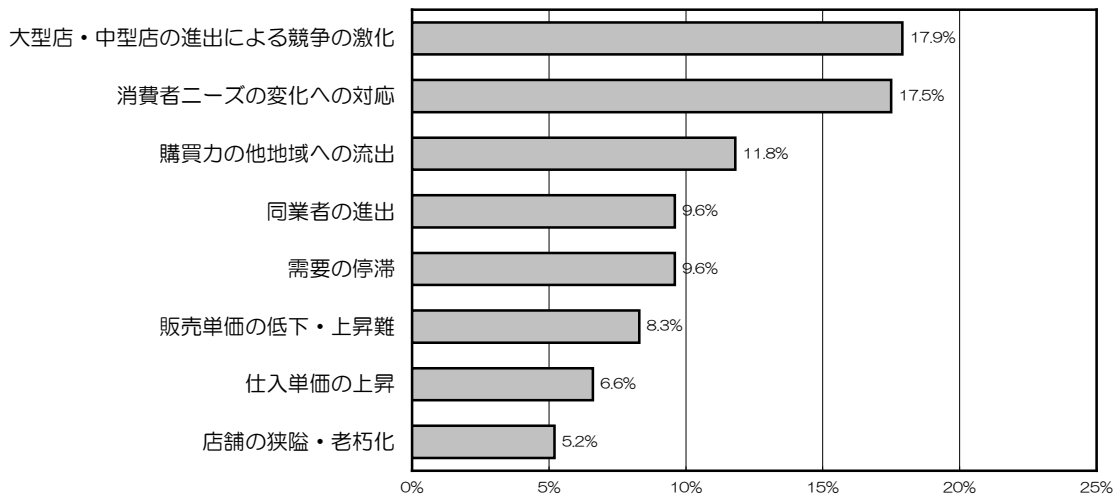
来期（2018.1～3）設備投資を計画する企業の割合は5.6%と、今期（2017.10～12：10.1）と比較して4.5ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、店舗、倉庫、付帯施設が各々28.6%、その他が14.3%となっています。



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で17.9%、第2位が「消費者ニーズの変化への対応」で17.5%、第3位が「購買力の他地域への流出」で11.8%、第4位が「同業者の進出」、「需要の停滞」で各々9.6%、第5位が「販売単価の低下・上昇難」で8.3%、第6位が「仕入単価の上昇」で6.6%、第7位が「店舗の狭隘・老朽化」で5.2%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



## 1. 業況

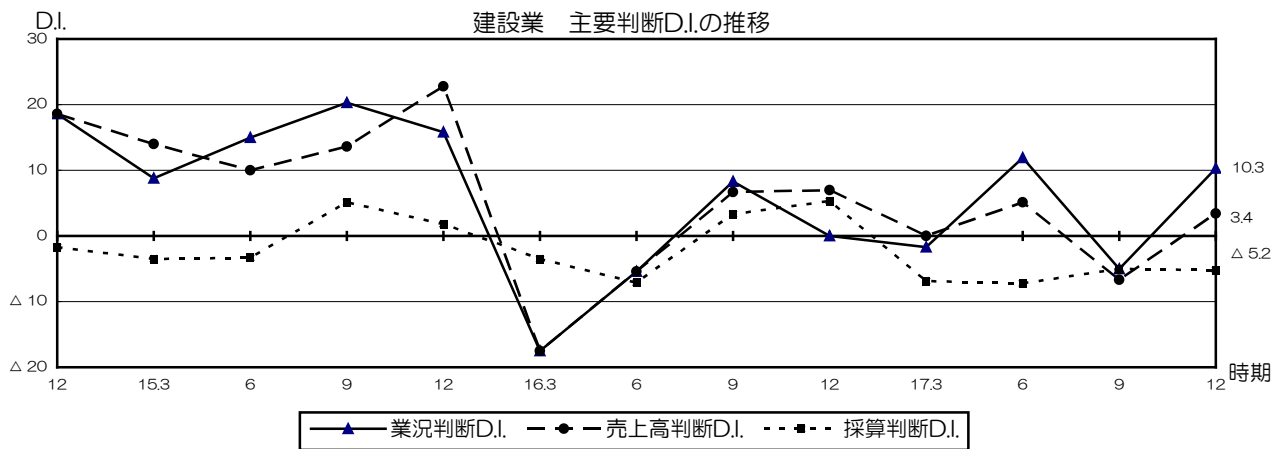
今期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は 10.3 と、前期 (2017.7~9: Δ5.0) との比較で 15.3 ポイント改善しプラス判断に転じているほか、資金繰り、採算以外の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査のΔ5.4 を 15.7 ポイント上回っているほか、材料単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2018.1~3) の業況判断 D.I.は 6.9 と、今期 (2017.10~12) との比較で 3.4 ポイント悪化すると予想しているほか、売上高、資金繰り以外の項目でも今期を下回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	Δ5. 0	10. 3	6. 9	Δ5. 4
売 上 高	Δ6. 7	3. 4	3. 4	Δ7. 0
資 金 繰 り	1. 7	1. 7	1. 7	Δ2. 6
採 算	Δ5. 0	Δ5. 2	Δ6. 9	Δ11. 3
受 注 額	Δ3. 3	8. 6	3. 4	Δ7. 8
材 料 単 価	15. 0	17. 2	12. 1	30. 4
従業員増減	Δ1. 7	3. 4	Δ1. 7	Δ1. 9



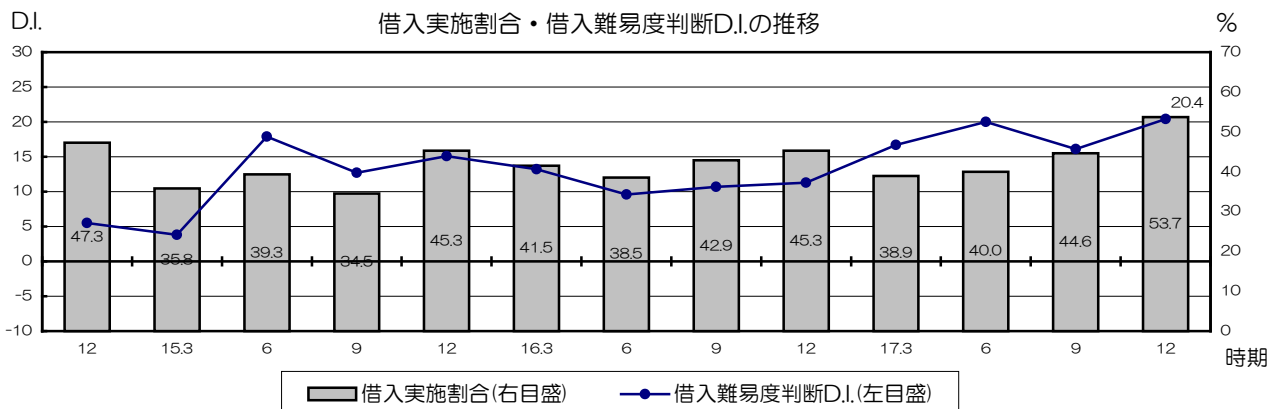
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.10~12) 借入を実施した企業の割合は 53.7%と、前期 (2017.7~9: 44.6%) と比較して 9.1 ポイント増加しました。

来期 (2018.1~3) 借入を予定する企業の割合は 37.0%と 16.7 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.10~12) 20.4 と、前期 (2017.7~9: 16.1) との比較では 4.3 ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	44. 6%	53. 7%	37. 0%
借入難易度判断 D.I.	16. 1	20. 4	



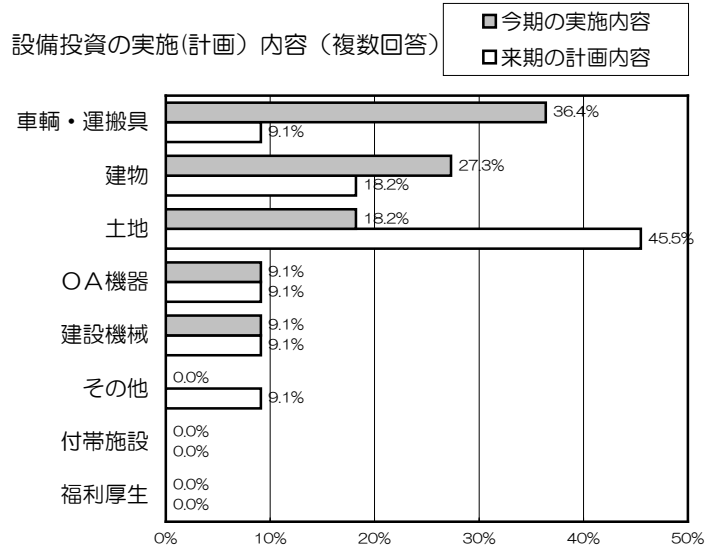
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.10～12）設備投資を実施した企業の割合は13.8%と、前期（2017.7～9：10.0%）との比較で3.8ポイント増加しました。

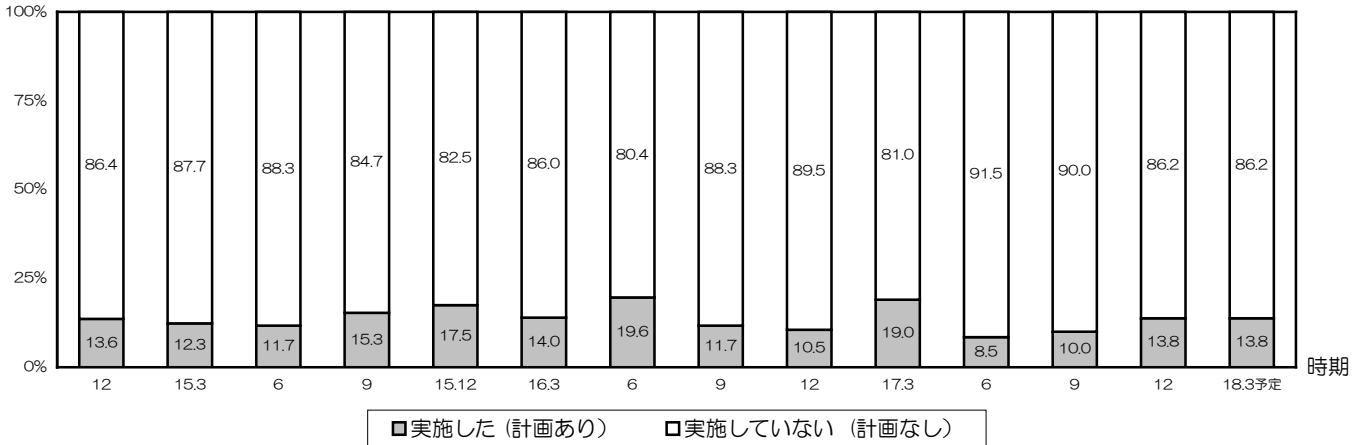
設備投資の内訳は、車輛・運搬具が36.4%、建物が27.3%、土地が18.2%、建設機械、OA機器が各々9.1%でした。

来期（2018.1～3）設備投資を計画する企業の割合は13.8%と、今期（2017.10～12）との比較で変化がない見込みです。設備投資の内訳は、土地が45.5%、建物が18.2%、車輛・運搬具、OA機器、建設機械、その他が各々9.1%となっています。

設備投資の実施(計画)内容（複数回答）



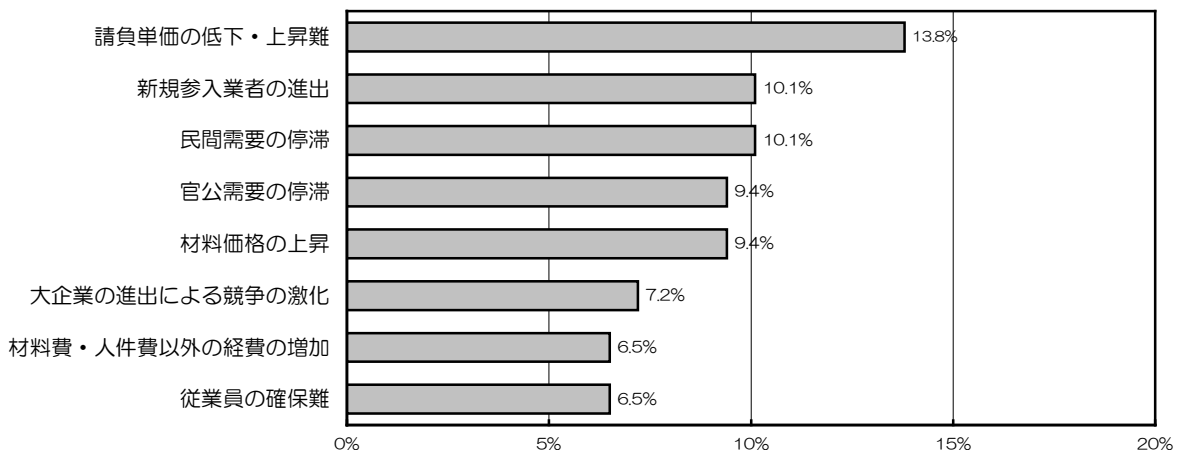
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「請負単価の低下・上昇難」で13.8%、第2位が「新規参入業者の進出」、「民間需要の停滞」で各々10.1%、第3位が「官公需要の停滞」、「材料価格の上昇」各々で9.4%、第4位が「大企業の進出による競争の激化」で7.2%、第5位が「材料費・人件費以外の経費の増加」、「従業員の確保難」で各々6.5%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



# サービス業

2017.10~12月期 (回答 81 社・・・回答率 94.2%)

## 1. 業況

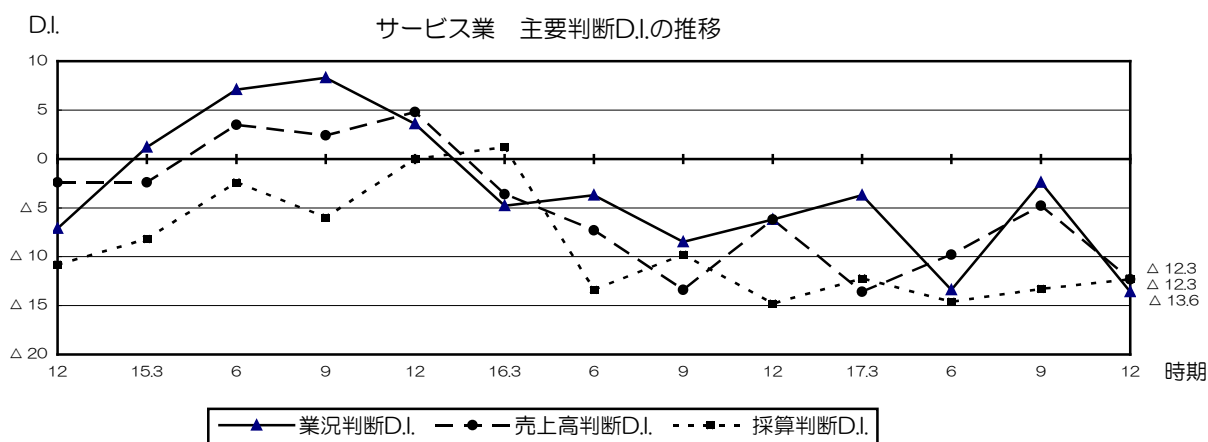
(対前年同期比判断D.I.)

今期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 13.6$ と、前期 (2017.7~9:  $\Delta 2.4$ ) との比較で 11.2 ポイント悪化しているほか、売上高、資金繰り、客単価の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 18.1$ を 4.5 ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回っています。

来期 (2018.1~3) の業況判断 D.I.は $\Delta 3.7$ と、今期 (2017.10~12) との比較で 9.9 ポイント改善すると予想しているほか、仕入単価以外の項目で改善すると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 2.4$	$\Delta 13.6$	$\Delta 3.7$	$\Delta 18.1$
売 上 高	$\Delta 4.8$	$\Delta 12.3$	1.2	$\Delta 15.8$
資 金 繰 り	$\Delta 1.2$	$\Delta 12.3$	$\Delta 1.2$	$\Delta 12.6$
採 算	$\Delta 13.3$	$\Delta 12.3$	$\Delta 8.6$	$\Delta 20.9$
客 単 価	$\Delta 4.8$	$\Delta 7.4$	$\Delta 3.7$	$\Delta 9.4$
仕 入 単 価	16.9	18.5	16.0	30.9
従業員増減	$\Delta 4.9$	$\Delta 2.5$	$\Delta 1.3$	$\Delta 5.1$



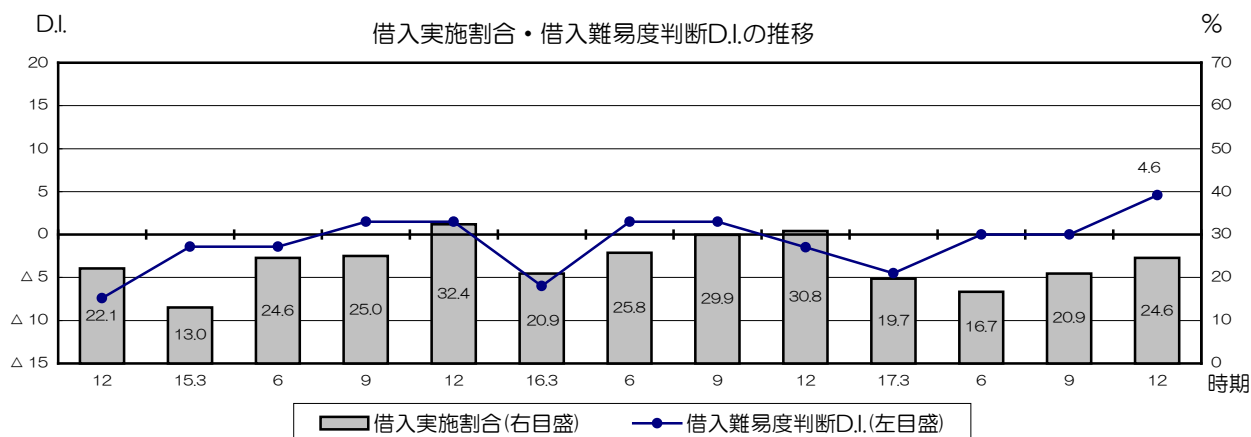
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.10~12) 借入を実施した企業の割合は 24.6%と、前期 (2017.7~9) の 20.9%と比較して 3.7 ポイント増加しました。

来期 (2018.1~3) 借入を予定する企業の割合は 23.1%と、今期 (2017.10~12) との比較で 1.5 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.10~12) 4.6 と、前期 (2017.7~9: 0.0) との比較では 4.6 ポイント改善する見込みです。

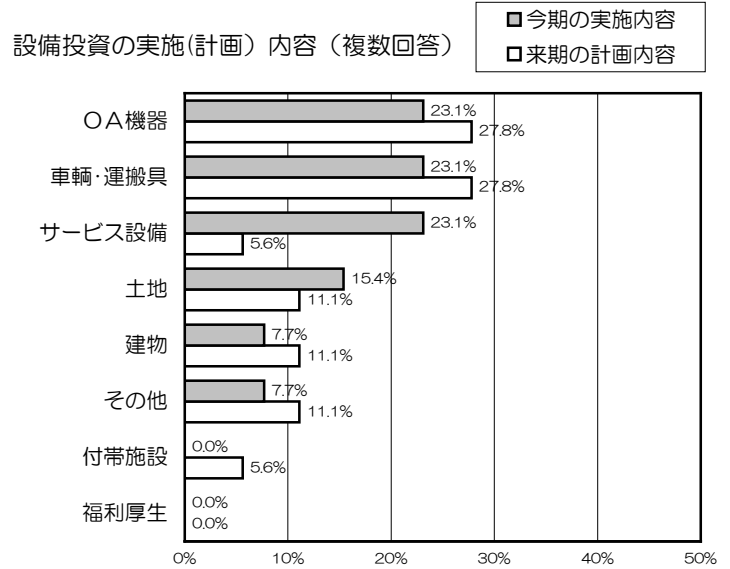
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	20.9%	24.6%	23.1%
借入難易度判断 D.I.	0.0	4.6	



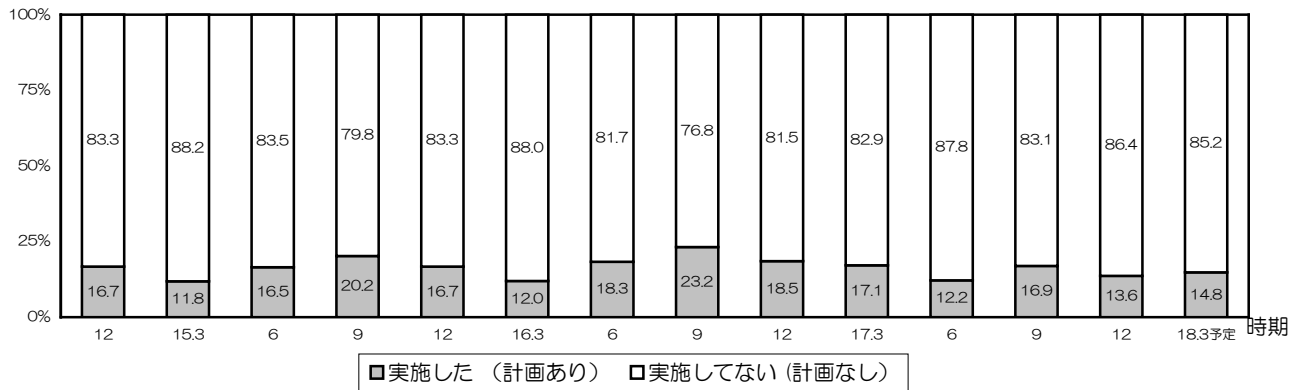
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.10～12）設備投資を実施した企業の割合は13.6%と、前期（2017.7～9：16.9%）との比較で3.3ポイント減少しました。設備投資の内訳は、OA機器、車輛・運搬具、サービス設備が各々23.1%、土地が15.4%、建物、その他が各々7.7%でした。

来期（2018.1～3）設備投資を計画する企業の割合は14.8%と、今期（2017.10～12）と比較して1.2ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、OA機器、車輛・運搬具が各々27.8%、土地、建物、その他が各々11.1%、サービス設備、付帯施設が各々5.6%となっています。



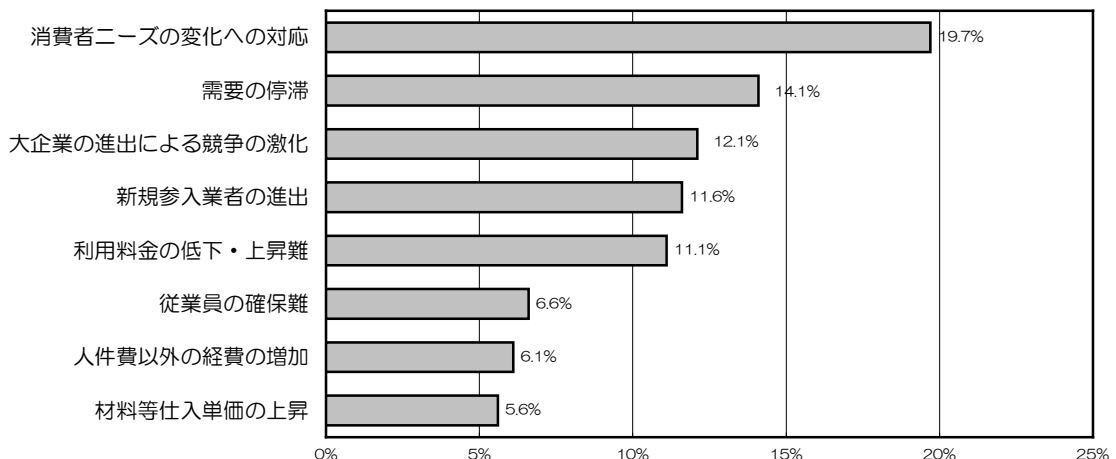
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

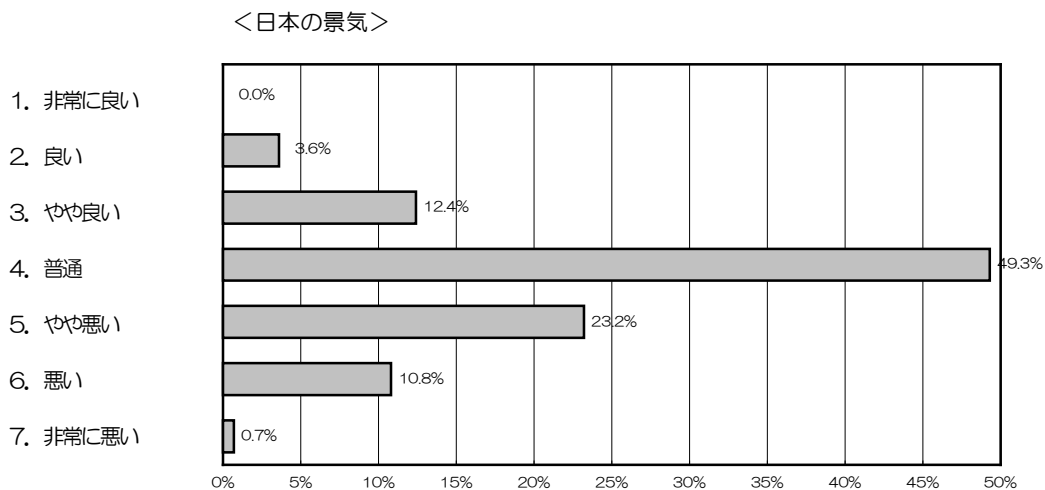
主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で19.7%、第2位が「需要の停滞」で14.1%、第3位が「大企業の進出による競争の激化」で12.1%、第4位が「新規参入業者の進出」で11.6%、第5位が「利用料金の低下・上昇難」で11.1%、第6位が「人件費以外の経費の増加」で6.1%、第7位が「材料等仕入単価の上昇」で5.6%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）

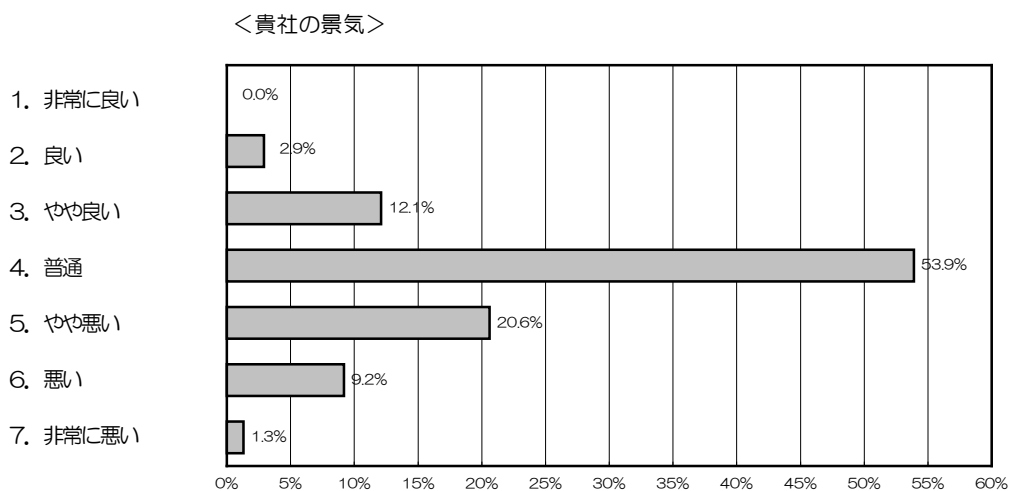


## 「2018年（平成30年）の経営見通し」

問1 貴社では、2018年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。



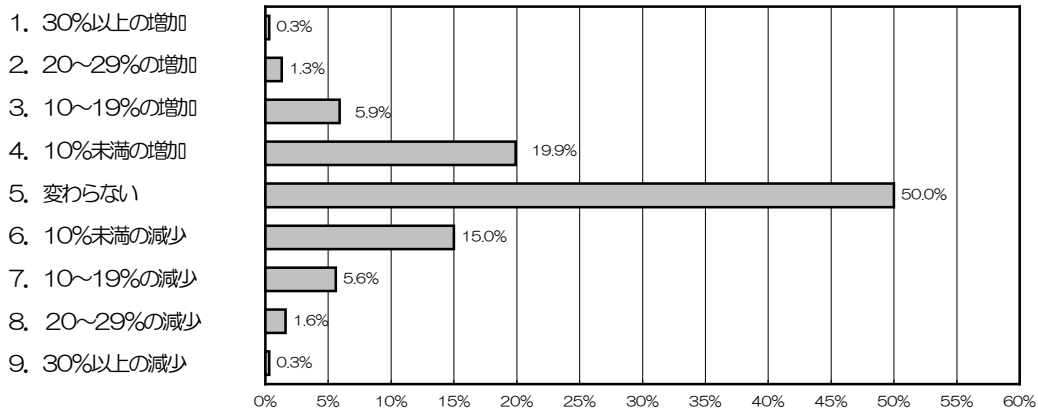
問2 貴社では、2018年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。





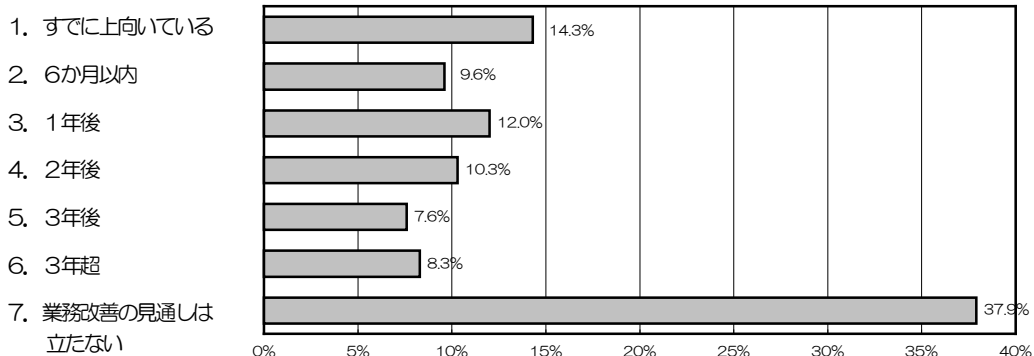
問3 2018年において貴社の売上額の伸び率は、2017年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

<2018年の伸び率>



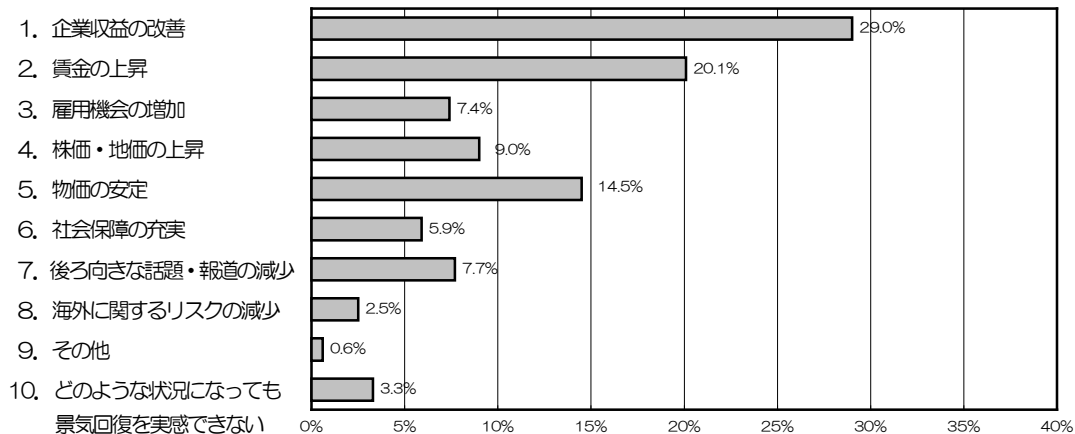
問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

<業況の転換点>



問5 世間一般では、「景気回復を実感できない」という意見が広くみられるようですが、貴社では、どのような状況になれば、世の中が景気回復をより実感できるようになると思いますか。次の中から最大3つまで選んでお答え下さい。

<2018年の伸び率>



# 集計結果 (2017.10~12月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	12.7	69.1	18.2	△ 5.5	12.1	74.4	13.5	△ 1.4	10.5	74.7	14.9	△ 4.4
	売上	17.6	60.9	21.5	△ 3.9	16.0	69.7	14.3	1.7	12.7	72.2	15.2	△ 2.5
	資金繰り	4.4	83.5	12.1	△ 7.7	5.0	87.1	8.0	△ 3.0	5.2	84.6	10.2	△ 5.0
	採算	6.9	76.0	17.1	△ 10.2					6.3	76.6	17.1	△ 10.7
	従業員増減	10.6	81.4	8.1	2.5					8.4	87.4	4.2	4.2
	借入難易度					13.7	78.0	8.3	5.4				
製造業	業況	21.1	58.7	20.2	0.9	18.3	65.1	16.5	1.8	12.8	73.4	13.8	△ 0.9
	売上	26.6	48.6	24.8	1.8	21.1	60.6	18.3	2.8	13.8	71.6	14.7	△ 0.9
	資金繰り	5.5	82.6	11.9	△ 6.4	4.6	87.2	8.3	△ 3.7	3.7	85.3	11.0	△ 7.3
	採算	9.2	75.2	15.6	△ 6.4					8.3	78.9	12.8	△ 4.6
	原材料単価	21.3	75.9	2.8	18.5					21.3	76.9	1.9	19.4
	原材料在庫	5.6	87.0	7.4	△ 1.9					3.7	86.1	10.2	△ 6.5
	従業員増減	18.7	73.8	7.5	11.2					17.8	77.6	4.7	13.1
	設備操業率	13.8	73.4	12.8	0.9					13.8	77.1	9.2	4.6
借入難易度					14.7	76.8	8.4	6.3					
卸売業	業況	3.8	84.6	11.5	△ 7.7	3.8	88.5	7.7	△ 3.8	15.4	76.9	7.7	7.7
	売上	19.2	65.4	15.4	3.8	15.4	76.9	7.7	7.7	15.4	76.9	7.7	7.7
	資金繰り	3.8	92.3	3.8	0.0	0.0	96.2	3.8	△ 3.8	7.7	88.5	3.8	3.8
	採算	7.7	76.9	15.4	△ 7.7					7.7	76.9	15.4	△ 7.7
	売上単価	3.8	92.3	3.8	0.0					0.0	96.2	3.8	△ 3.8
	仕入単価	15.4	76.9	7.7	7.7					11.5	80.8	7.7	3.8
	在庫数量	11.5	80.8	7.7	3.8					7.7	88.5	3.8	3.8
	従業員増減	11.5	88.5	0.0	11.5					7.7	92.3	0.0	7.7
	借入難易度					0.0	90.5	9.5	△ 9.5				
小売業	業況	6.7	70.8	22.5	△ 15.7	11.2	74.2	14.6	△ 3.4	3.4	73.0	23.6	△ 20.2
	売上	15.7	58.4	25.8	△ 10.1	16.9	64.0	19.1	△ 2.2	10.1	65.2	24.7	△ 14.6
	資金繰り	2.2	82.0	15.7	△ 13.5	5.6	84.3	10.1	△ 4.5	2.2	83.1	14.6	△ 12.4
	採算	4.5	74.2	21.3	△ 16.9					2.2	71.9	25.8	△ 23.6
	売上単価	7.9	77.5	14.6	△ 6.7					5.6	78.7	15.7	△ 10.1
	仕入単価	22.5	69.7	7.9	14.6					19.1	73.0	7.9	11.2
	在庫数量	4.5	84.3	11.2	△ 6.7					3.4	85.4	11.2	△ 7.9
	従業員増減	6.9	87.4	5.7	1.1					3.4	94.3	2.3	1.1
	借入難易度					11.5	75.6	12.8	△ 1.3				
建設業	業況	19.0	72.4	8.6	10.3	12.1	82.8	5.2	6.9	15.5	75.9	8.6	6.9
	売上	17.2	69.0	13.8	3.4	10.3	84.5	5.2	5.2	12.1	79.3	8.6	3.4
	資金繰り	6.9	87.9	5.2	1.7	6.9	89.7	3.4	3.4	6.9	87.9	5.2	1.7
	採算	5.2	84.5	10.3	△ 5.2					5.2	82.8	12.1	△ 6.9
	受注額	15.5	77.6	6.9	8.6					13.8	75.9	10.3	3.4
	材料単価	17.2	82.8	0.0	17.2					13.8	84.5	1.7	12.1
	従業員増減	6.9	89.7	3.4	3.4					3.4	91.4	5.2	△ 1.7
	借入難易度					22.2	75.9	1.9	20.4				
サービス業	業況	6.2	74.1	19.8	△ 13.6	7.4	76.5	16.0	△ 8.6	9.9	76.5	13.6	△ 3.7
	売上	7.4	72.8	19.8	△ 12.3	12.3	75.3	12.3	0.0	13.6	74.1	12.3	1.2
	資金繰り	3.7	80.2	16.0	△ 12.3	4.9	85.2	9.9	△ 4.9	8.6	81.5	9.9	△ 1.2
	採算	7.4	72.8	19.8	△ 12.3					8.6	74.1	17.3	△ 8.6
	客単価	4.9	82.7	12.3	△ 7.4					6.2	84.0	9.9	△ 3.7
	仕入単価	19.8	79.0	1.2	18.5					18.5	79.0	2.5	16.0
	従業員増減	8.8	80.0	11.3	△ 2.5					5.0	88.8	6.3	△ 1.3
	借入難易度					12.3	80.0	7.7	4.6				

## 伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.59

---

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

---

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。